

卒業論文

卒業論文演習

卒業論文及び卒業論文演習は教養学部の専門科目であり、教養学部生には必修科目である。

4年次以上の学生で、その年度に卒業を希望する者は卒業論文及び所属する専攻コースの卒業論文演習を履修しなければならない。

履修にあたっては、所属する専攻コースの卒業論文及び卒業論文演習の講義番号を聴講届にマークすること。

各専攻コースの卒業論文及び卒業論文演習の講義番号は時間割に掲出する。

3年次以下の学生は履修できない。

卒業論文を提出できなかった者については、自動的に卒業論文8単位、及び卒業論文演習4単位の履修登録が取り消される。この場合、当該学生は次年度以降、改めて卒業論文及び卒業論文演習の履修登録をすることになる。

- 01001 哲学・思想コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 哲学・思想コースの学生で、今年度卒業論文を提出予定の者は必ず履修しなければならない(留年者も必ずあらためて登録し、履修し直すこと)。指導方法については、1回目のミーティングで説明する。一回目のミーティングの日時・場所については、年度はじめに掲示するので注意すること。
- 02001 芸術論コース卒業論文演習 全 教 官
- 03001 文化人類学コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 卒業論文作成のための指導を行う。第1回目に卒業論文のテーマと製作計画概要をまとめたレポートを準備しておくこと。また年度中に数回のレポート提出を求める。詳細は演習時に指示する。
 3. 卒論の成果によって評価する。
- 04001 歴史学コース卒業論文演習 全 教 官
 1. 卒業論文提出予定者全員を対象に開く演習で、年間スケジュールに従って、その都度の課題に応じた報告をしてもらう。毎回必ずレジュメの用意が必要。詳しくは第1回の演習の際に説明する。
 2. 留年した場合単位は出さないので、翌年改めて履修することが必要である。
 3. 4年生のみでなく、留年生も出席の義務があることに注意。また開講日については、掲示によく注意すること。
- 05001 地理学コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 卒業論文作成のための演習で、各自の研究テーマについて関連する従来の研究の整理、検討を行い、さらに年数回卒業論文の進捗状態を報告してもらい、それについて検討する。
 3. 出席と報告による。
 4. 参考書：高橋 伸夫・溝尾 良隆 編『地理学講座6 実践と応用』(古今書院、1989年)
- 06001 日本文化コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 卒業論文作成のための指導を行う。年4回発表会を開く。やむをえない事情で欠席する学生は、あらかじめ卒業論文演習担当教官に申し出なければならない。
- 07001 東アジア文化コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 年に数回の全体会で、構想・進捗状況・論文の梗概などを発表してもらい全教官からの指導をうける。中間の期間は、個別に指導教官と相談し、指導教官及び全教官から随時指導をうける。
- 08001 イギリスコース卒業論文演習 全 教 官
- 09001 アメリカ研究コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 題目設定、資料探索・調査、執筆に至るまで、段階を追って指導していく。
 3. 各段階における課題の提出。中間報告。
 4. 齊藤 孝『学術論文の技法』
 5. 卒業演習の日程は連絡用黒板にするのでよく注意すること。
- 10001 ドイツ語圏(ドイツ・オーストリア・スイス)文化コース卒業論文演習 全 教 官
- 11001 フランス文化コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 卒業論文の書き方全般(研究書の読み方、テーマの選び方、論文の構成、文体、註や参考文献リストの書き方)を指導する。
 3. 卒業論文中間発表を評価する。
 5. フランス文化コースの学生を対象とする。
- 12001 スラブ文化コース卒業論文演習 全 教 官
- 13001 現代社会学コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 卒業論文作成のための演習である。年に数回、各自の研究の進捗状況について報告してもらい討議する。
 5. 必要な連絡事項は、そのつど掲示する。
- 14001 コミュニケーション論コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 卒論テーマの選択法や書き方に関する指導、学生の発表指導。ゼミという形だけでなく、個別に指導も行う。
 3. 出席状況と発表内容やプレゼンテーションの仕方を総合して評価する。
 4. プリント配布など。
 5. 今年度から回数を減らし、なるべく一日で全員が発表できるような機会を設ける。その日程等については、掲示で知らせるので、注意するように(土日の利用あるいは合宿があるかもしれない)。
- 15001 国際関係論コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 卒業論文演習。詳細については追って掲示します。
- 16001 社会情報システム論コース卒業論文演習 全 教 官
 2. 4年生を対称に、卒業指導に対するコースとしての基本的な方針について説明したあと、各学年の意向を聞き、6月の末までにテーマと指導教官が決められるように指導する。また、それ以降の指導を、状況に応じ、くわしい計画を立てて進める予定。